

# よいち NO.57

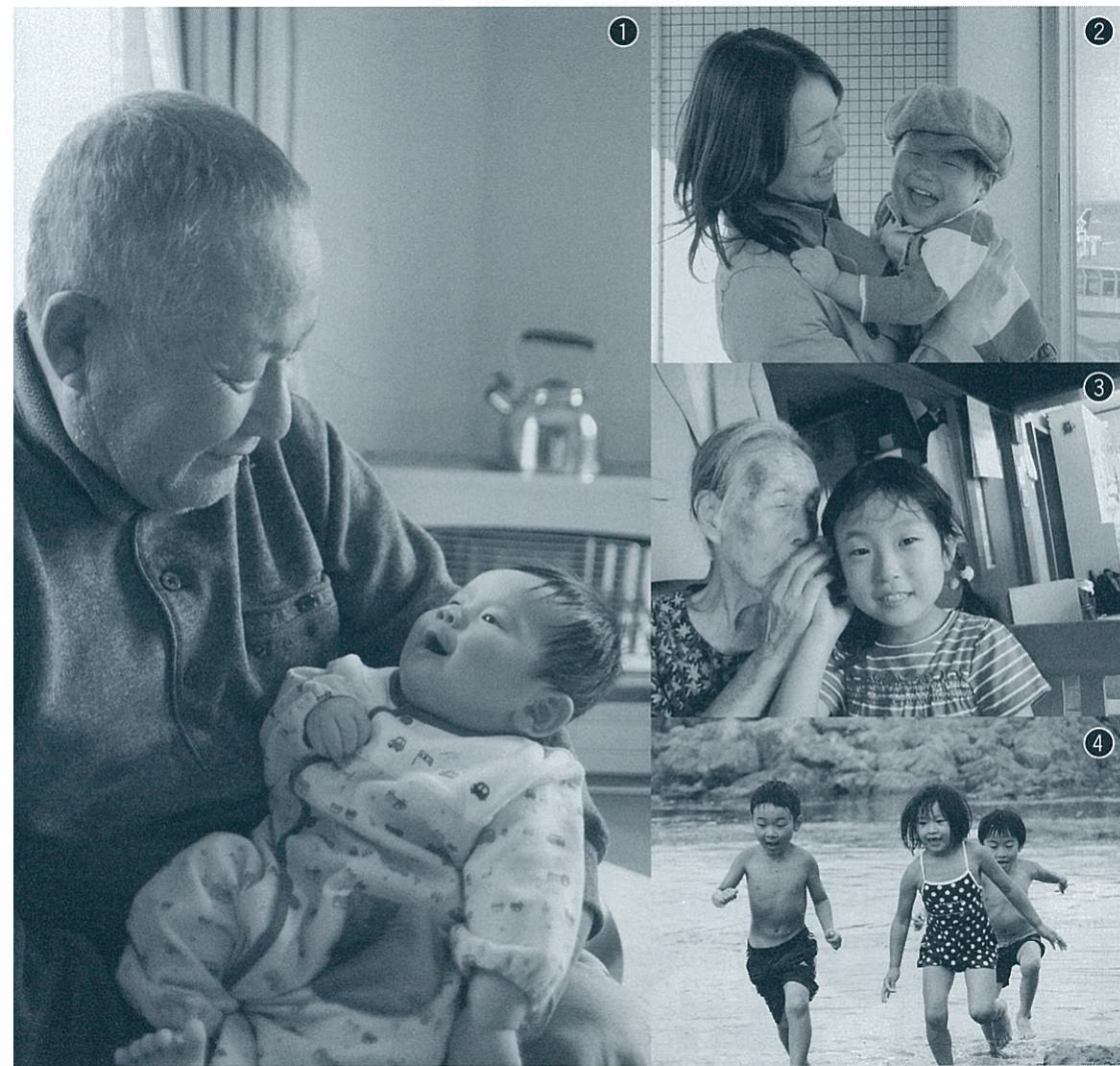
## 社協だより

# 1

JANUARY 2012

SPECIAL REPORT  
特集

平成23年度福祉講演会



写真①：最優秀賞「孫との会話」阿部和彦様 写真②：優秀賞「だっこ」滝沢節子様  
写真③：優秀賞「ひいばあちゃんとひまごのひみつの話」大谷 覚様  
写真④：特別賞「2011年♡夏in yoichi」渡辺幸江様

### ●地域の力・この人 シリーズ③

民生委員さんをご存じですか

- 年頭のご挨拶
- 市民後見人養成講座(基礎・実践編)終了
- 平成23年度社協会費の納入お礼
- 平成23年度法人会員・団体会員会費の納入お礼
- 専門家からのワンポイントアドバイス〈遺言編〉
- 子育てほのぼのの写真コンクール入賞決定
- インフォメーション

### くらし・キーワード⑨

「安心して学校へ行こう」

小樽商科大学 教授 片桐 由喜



この広報誌は赤い羽根共同募金会の助成金を活用しています。

特集

# 平成23年度福祉講演会

「そうだったのか！認知症」〜認知症になっても安心して暮らせるまちにしたい〜

■とき 11月12日(土)

■ところ 余市経済センター

社団法人余市町社会福祉

講師 医療法人社団・滋恒会「中島内科」院長  
「グループホームなかじま」理事長 中島恒子氏

## 社協・福祉講演会

社団法人余市町社会福祉

11月12日、余市経済センターに於いて本年度「福祉講演会」が開催され、町内外から約200名近くの参加者を前に、「中島内科」院長より認知症についてご講演を頂きました。

高齢化が進むにつれ、認知症の人が年々増加しているが、その症状への理解は未だ十分とは言えず、ひとりで悩みを抱える介護者が多数いること、また、介護者が抱える問題や家族の気持ちや思いやること等、様々な事例を交え、分かりやすく説明されました。

「そうだったのか！認知症」



### <物忘れ>

- 経験したことが部分的に思い出せない
- 目の前の人の名前を思い出せない
- 物の置き場所を思い出せないことがある
- 何を食べたか思い出せない
- 約束をつっかり忘れてしまった
- 物覚えが悪くなったように感じる
- 曜日や日付を間違えることがある

### 物忘れと記憶障害はここが違う

### <記憶障害>

- 経験したことを忘れている
- 目の前の人や誰だかわからない
- 置き忘れ・紛失が頻繁になる
- 食べたことを忘れている
- 約束したこと自体を忘れている
- 数分前の記憶が残らない
- 月や季節を間違えることがある

喜びの心で 地域を拓く



# 北海道しんきん

理事長 伊戸隆紀

これからも皆さまとともに歩んでまいります

〒046-0003

本店 余市郡余市町黒川町4丁目5番地 ☎(0135)22-2121

<http://www.shinkin.co.jp/hokkai>



太い幹のように、地域に根ざしたコミュニティバンク

## 年頭のご挨拶



社会福祉法人  
余市町社会福祉協議会

会長 吉野 幸雄



新年あけましておめでとございます。

平成二十四年の新しい年を皆様と共に迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃、皆様には本会の地域福祉推進事業各般に亘り、ご支援とご協力を賜わり、衷心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

又、昨年は東日本大震災に伴う義援金をはじめとする被災者支援活動へのご協力に対しまして重ねてお礼を申し上げます。

さて、今日の社会情勢の変化から、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核として改めて「住民同士の助け合い」や「地域での支え合い」など、地域福祉の推進役として、その取組みや役割に大きな期待が寄せられているところであります。

本会では、皆様既にご承知のとおり、「地域での新たな支え合いの仕組みづくり」を理念とした子育て支援や権利擁護支援での成年後見制度の利用促進の取組、更には、社会保険制度や福祉サービス情報の提供など、地域力向上の取組みを推進しているところであります。

本年も引き続き、こうした制度利用の促進や福祉サービス情報等の提供に努めると共に、住民の皆様との生活拠点での地域課題の把握に努め、関係各位との連携の下、本町の地域福祉の総合的な推進に役職員一同一丸となって取組んで参る所存でございます。

どうか皆様におかれましては、「だれもが安心して暮らすことが出来る地域社会の実現」のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が皆様にとって、幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

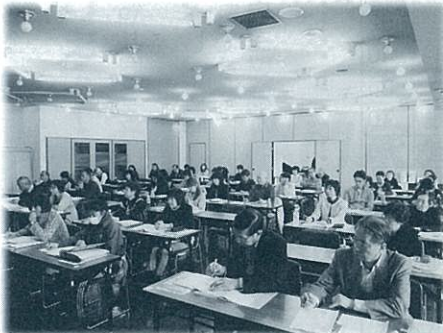
—厚生労働省モデル事業・市民後見推進事業—

## 平成23年度市民後見人養成講座(基礎編・実践編)終了しました

10月22日〈基礎編〉からスタートした市民後見人養成講座が、12月17日〈実践編〉の最終講座を終え、認知症・知的障害・精神障害などにより、判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることを支援する、社会貢献活動としての“市民後見人”の希望者が誕生しました。

今後「小樽・北しりべし成年後見センター」に登録され、ご活躍されることを期待しております。

【主催】余市町 【実施主体】余市町社会福祉協議会/小樽・北しりべし成年後見センター(小樽市社協)



〈基礎編 2日間〉余市経済センター



〈実践編 4日間〉小樽市生涯学習プラザ/レピオ



12/17 受講生代表として修了証を授与(三上様)

新会員募集中!  
シルバーで働いてみませんか?

シルバー人材センターで  
高齢者の知識・経験・技能  
を大いに活用

地域の皆さまへ  
仕事の発注はぜひ!  
シルバー人材センターへ

お申し込み  
お問い合わせは

元気で働ける喜び・地域のお役にたてる幸せ  
社団法人 余市町シルバー人材センター  
余市町黒川町5丁目22番地 TEL. 22-7641 FAX. 22-7642

# よいち社協

## 平成23年度 社協会費納入ありがとうございました。

社協会費は、民間組織の社協や地域福祉活動を、住民の皆さんに理解していただき、  
参画していただくという意味もあり、住民主体の性格を裏付ける貴重な財源です。  
地域福祉の原動力であり、社協を支える会員の増強に今後とも引き続きご協力をお願いします。

**一般会員** (一口500円) 社会福祉に理解や関心がある方ならどなたでも。

**法人・団体会員** (一口500円以上) 社会福祉に理解ある企業、事業所、団体、施設等



### 第14期 福祉委員 48名 (任期：平成22年4月1日～平成24年3月31日)

大川地区 副委員長 北島敏子氏 (栄 町)

第14期福祉委員長 吉田ミツ子氏 (大川5)

(単位：円)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員氏名	入会戸数
大川 1	70	32,500	山崎直子	64
大川 2	73	20,000	内海久子	40
大川 3	88	39,000	橋端枝美子	78
大川 4	74	44,000	阿部美智子	63
大川 5	131	48,000	吉田ミツ子	83
大川 6	224	40,500	羽二生 茂	80
大川 7	431	158,400	大嶋 励	314
大川 8	337	129,500	佐々木 晃	257
大川 9	222	67,000	鈴木スミ子	115
大浜中西	268	109,000	岩森 總	212
大浜中東	380	178,000	坂詰昌彦	353
栄 町	129	50,000	北島敏子	100
大川地区計	2,427	915,400		1,759

中央地区 副委員長 池田 優氏 (美 園)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員氏名	入会戸数
朝日町	153	51,500	轟木清幸	103
入舟 1	64	20,300	松本 文	41
入舟 2	241	89,500	加藤正昭	159
山田町	341	153,000	室原盛利	306
美園町	326	70,000	池田 優	140
浜中モイ台	142	58,500	佐藤健吉	117
中央地区計	1,267	442,800		866

西部地区 副委員長 相馬征四郎氏 (富沢4)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員氏名	入会戸数
浜中町	106	44,500	中山 登	85
沢町 1	103	44,000	稲澤 隆	75
沢町 2	254	50,000	大野哲嗣	100
沢町 3	38	19,000	小山邦彦	38
富沢 1	179	63,500	酒井近義	127
富沢 2	169	62,500	合田 勲	117
富沢 3	183	74,500	池田弘子	149
富沢 4	286	133,500	相馬征四郎	267
港 町	261	26,000	久保田幸光	52
梅川 1	40	20,000	内田豊明	40
梅川 2	106	47,600	桜庭澄子	96
梅川団地	119	28,600	竹川光雄	70
豊丘町	80	34,000	藤村 強	66
白岩町	9	4,500	葛西重行	9
潮見町	4	2,000	住吉 律	4
豊浜町	28	12,500	富山壽子	25
西部地区計	1,965	666,700		1,320
H23合計	8,495	2,987,800		5,851
H22合計	8,567	2,974,400		5,816

黒川地区 副委員長 本間剛一氏 (黒川1)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員氏名	入会戸数
黒川 1	181	29,500	本間剛一	58
黒川 2	108	43,500	乾 康文	87
黒川 3	97	30,000	計良 昇	60
黒川 4	91	30,500	師田芳洋	47
黒川 5	149	56,000	坂本利郎	111
黒川6南	177	57,400	五十苅ゆき	113
黒川6中央	185	80,000	山本榮子	159
黒川6北	318	55,000	小野誠二	110
黒川7南	334	149,500	西野貴二	299
黒川7北	220	68,500	城野辰雄	135
黒川八幡	385	141,000	金澤雅志	279
共 栄	266	103,000	市川靖雄	210
黒川 8	220	70,000	村井康二	140
登 町	105	49,000	坂本政隆	98
黒川地区計	2,836	962,900		1,906

**会費・共同募金・寄付金等...**  
**地域福祉の推進に一層のご支援をお願い致します!**

社協の財源は、補助金や委託金による公的補助と皆様からの会費や共同募金配分金、寄付金等の自主財源で成り立っています。  
「住み慣れたまちで、誰もが安心して暮らせるまちづくり」をめざし、民間団体の立場から様々な社会福祉活動を推進していくのが社協の役割です。それぞれの地域の実情に応じた自主的な計画推進のためには、自主財源がとても大切になります。



- 成年後見・任意後見契約・遺言書・相続手続に関する無料相談
- 成年後見人・任意後見人・遺言書作成・遺言執行・相続手続の受任
- 財産管理・死後事務委任、ホームロイヤール契約書の作成及び受任
- 会社設立・建設業等の許認可申請、福祉法務手続等も承ります。



## NPO法人成年後見・遺言相続支援センター

代表 (行政書士・社会福祉士・日本成年後見法学会正会員) 秦 健一郎

〒047-0031 小樽市色内1-8-18 TEL(0134)33-6666 FAX33-6667

法人・団体会員  
のご紹介

# たくさんの応援、ありがとうございます。

法人会員／34社

### 大川地区 (11社)

- 浦田燃料店
- 清水商事(株)
- (有)野澤企画/野澤ビジネススクール余市校
- 吉野包装資材店
- (有)服部葬儀社
- (株)越智自動車
- (株)おおはし
- 余市建設業協会
- ながい小児科医院
- 城野電機工業(株)
- (株)松浦組

### 黒川地区 (16社)

- 余市商工会議所
- (株)ホンダ
- 中道仏壇店
- 北海信用金庫
- (株)丸しめ志賀商店
- (有)柿崎商店
- (株)高橋配管設備
- 小樽つばめ交通(株)余市支店
- (株)平塚三郎商店
- 余市精菱機械(株)
- イオン北海道(株)イオン余市店
- 佐野内科クリニック

### 後志環境管理(株)

- 社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院
- 中村建設(株)
- 医療法人社団修徳会林病院

### 西部地区 (7社)

- (株)菊地石油
- 田中内科医院
- (株)木村配管
- (株)関組
- 河辺石油(株)余市営業所
- 余市郡漁業協同組合
- 余市水産加工業協同組合

## 社協会費納入ありがとうございました

団体会員／32団体  
(加入順)

- 特別養護老人ホームフルーツシャトーよいち
- 社会福祉法人徳風会養護老人ホームかるな和順
- 社会福祉法人徳風会よいち保育園
- 特定非営利活動法人余市はまなす
- 余市手話会
- 余市町赤十字奉仕団
- 社会福祉法人小樽四ツ葉学園余市幸住学園
- 社会福祉法人小樽四ツ葉学園余市豊浜学園
- 余市町老人クラブ連合会
- 余市町民生委員協議会
- 余市町民生委員OB会
- 余市更生保護女性会
- 余市町認知症の人を支える家族の会
- 余市地区保護司会
- 余市BBS会
- 余市医師会

- 国際ソロプチミスト余市
- 余市町身体障害者福祉協会
- 余市仏教会
- 余市青年会議所
- 余市町地域子ども会育成連絡協議会
- 余市町区会連合会
- 余市町食生活改善推進員会
- 余市町PTA連合会
- 余市町女性団体連絡協議会
- 余市町脳卒中リハビリテーション懇友会
- 社団法人余市町シルバー人材センター
- 特定非営利活動法人しりべし地域サポートセンター/コミュニティ茶屋
- NPO法人しりべし圏域総合支援センター
- 新** 公民館サークル本のひろば (新規加入)
- 新** 余市町心身に遅れをもつ子と共に歩む会 (新規加入)
- 新** NPO法人樹の杜 (新規加入)



## 専門家からのワンポイントアドバイス (遺言編)



行政書士  
ハタケンイチロー

相続の割合は法律で決められています。遺言書ではこれを修正して自由にシナリオを作ることができます。

例えば子どもが二人いた場合、家屋を二人の子どもの共有名義にして、二人が家を半分に分けて住むわけにはいきません。こんなとき一人の名義にして、もう一人にはお金を多く遺す、という柔軟な作り方ができます。また、介護などで面倒をみてくれた子どもなどにお礼として遺産を遺したいというケースもあります。

遺言には大きく分けて自分で記載する**自筆証書遺言**と公証役場の公証人という専門機関にお願いする**公正証書遺言**の二つがあります。両者の違いはお金がかかるかどうかです。お金がかからない

のが前者、かかるのが後者とお考えください。

しかし、お金がかかるから安易に自筆証書にしますと、落とし穴があります。せっかく書いても遺言書が相続人に発見されるとは限りません。また、発見されたとしてもそのとおりに実現されるかどうかは発見者によります。自分に不利なことが書かれていれば闇に葬られてしまいます。その点、公正証書遺言は、原本が公証役場に保管され、紛失や改ざんのおそれがありません。

私はこの公正証書遺言の作成のお手伝いをし、親族で手続きをすることが難しい場合、「**遺言執行者**」として遺言者のご遺志を実現する役割を担っています。

このお正月を機会に、ご自身の遺言書の作成を考えてみてはいかがでしょうか？

# 安心して 学校へ行こう

小樽商科大学教授  
片桐由喜



**お**正月に大人たちはお屠蘇気分が晴れやかでしょうが、高校や大学を目指す受験生達は、今が真剣勝負のとき、最後の追い上げに入っていることと思います。

「太郎少年は、その村、開基以来の神童と称されるくらい、勉強がよくできました。中学3年の担任教師が進路につき問うと、太郎少年の母親は、わが家は生活保護を受けているので、役場の指示に従い息子は集団就職で東京に行かせると答えました。教師は驚き、かつ、なんとか太郎少年を進学させたいとの思いで奔走します。これを伝え聞いた村一番の金持ちで篤志家の次郎氏が支援を名乗り出ました。条件は、県内で一番の高校合格でした。太郎少年は、高校に合格し、次郎氏から授業料と生活費の援助を受けました。

3年間、トップクラスの成績だった太郎少年に、再び進路を決める時期が来しました。次郎氏は、日本で一番の大学現役合格を条件に再度の支援を申し出、太郎少年は今度もその期待にこたえました。その後、太郎少年は若くして母校の教授になり、後に世界的にも著名な学者となります。」

**こ**れは実話です。太郎少年が高校進学をした1950年代当時、被保護世帯の子供達は中学卒業後、当然に就職を求められましたが、なぜなら、生活保護法は義務教育までしかカバーしていないこと、世帯内に健康で働くことができる者がいる場合には、働いて家計を助けることを定めていたからです。この時代、太郎少年が高校へ行くためには、自家を出て親から独立し、自活しなければなりません。

した。そんなことは若干15歳の少年にはどだい無理な話ですから、進学を断念し、就職するしかないので。しかし、日本人は昔から教育熱心で、しかも学問を修めることが立身出世の最強手段と考えていました。このような社会を背景に、太郎少年の弟世代からは、奨学金や自分のアルバイトなどで高校授業料を用意できるなら、つまり生活保護費を授業料に当てなければ、働かず自宅から高校に通うことができるようになります。

**後**年の2008年、リーマンショックにより日本は深刻な経済停滞に陥り、これは家計にも影響を与えます。そして、生活保護を受ける受けにくいに関わらず、授業料を払えずに高校を中退するケースが相次いで報告されました。そこで、2010年、公立高校授業料が無償化されます。もともと、先進諸外国はほとんど前から無償あるいはほとんど無償に近い授業料です。高校全入時代となつて久しく、授業料も無償化された現在、子供達には受験さえなければ、あるいは親にとつても高校は義務教育の感覚かもしれません。高校

進学が夢のまた夢であった太郎少年にしてみれば、隔世の感があるのでしよう。ただし、授業料無償化だけで子供の教育費問題が解決、とはならないようです。母子家庭の6割が教育費不足を訴えているとの新聞記事を先日、読みました。授業料無償といつても、それ以外の費用、つまり、教科書、かばん、修学旅行などの代金は従来通り、各家庭で準備しなければならぬからです。

**今**お金の心配をせずに高校へ入学・通学し、在学中ののびのびと過ごすことが、子供にとつて大きな贅沢とは思えません。使える国家予算に限りがあり、必要とする人がたくさんいることは、もちろん、よくわかっています。でも、未来ある子供たちの予算は、最優先の1つにおかれても良いのではないのでしょうか。今年も厳しい経済状況が予想されます。だからこそ、いっそう、子供たちが希望をもつて、元気に学校へ通うことができるよう、私たち大人は配慮しなければなりません。2012年がすべての子供たちにとつて良き年となることを願ってやみません。

年中無休24時間営業

もしものとき安心と信頼の全国ネット



if共済会取扱加盟店

●経済産業大臣認可 全国葬祭業協同組合連合会  
●国土交通大臣認可 全国霊柩自動車協会 加盟店

厚生労働省認定葬祭ディレクター技能審査  
1級葬祭ディレクターが対応します。

(有)余市葬祭社

# 中道造花店

TEL22-3254 FAX23-4241

各宗派御葬儀式場

冷暖房完備・駐車場完備

## すずらんホール

黒川町13丁目 TEL21-4499

## さくらホール大川

大川町3丁目 TEL22-3254

# 地域の力・この人

## ～ 民生委員をご存じですか？ ～

人シリーズ③

民生・児童委員活動の間口は広く、奥行きが深い。しかも近年、少子高齢化が進行する中で、地域福祉や在宅福祉がより強く求められているとき、地域の方々に温もりある活動を進める“地域社会の福祉の担い手”として期待されている民生委員。その正式な身分が、非常勤特別職の地方公務員だということを、どれだけの人知っているだろう——  
そこで今回は「余市町民生・児童委員協議会」の各地区代表の方々をご紹介します。

- 【定数】 60名
- 【任期】 3年（現在：平成22年12月1日～平成25年11月30日）
- 【委嘱】 都道府県知事の推薦によって、厚生労働大臣が委嘱する
- ・市町村に設置された民生委員推薦会、市町村長、地方社会福祉審議会、都道府県知事を経て、厚生労働大臣に推薦され、委嘱することになっています。このように、委嘱されるまでにはいくつかの手続きが

必要であり、適任者を選ぶための審査が慎重に行われております。

【身分】 給料などを受けない公の職で、他に本業を持つことができ、かつ、その活動に必要な実費弁償としての手当は受けることができる（非常勤特別職の地方公務員）

【職務】

- 民生委員
  - 1 調査 2 自立援助 3 情報提供
  - 4 福祉事業との連携 5 協力 6 地域福祉推進
- 児童委員
  - 1 実情把握と記録 2 相談・支援 3 地域活動
  - 4 児童虐待への取り組み 5 意見具申 6 連絡通報

【事務局】 余市町民生部町民福祉課 TEL21-2120



## 余市町民生・児童委員担当地区マップ

会長 (大浜中西)  
**新見信浩様**  
大川19-20-30 TEL22-6305

●地域住民の立場に立って、個人の秘密を守り、誠意をもって活動します。  
●地域福祉の担い手として地域を耕し、専門職や福祉の実践者などと共に協働します。

副会長 (大川8)  
**安本幹雄様**  
大川14-20 TEL23-3411  
大川地区担当  
大川・栄・入舟・朝日・浜中モイレ台・美園  
民生委員数/25名

副会長 (沢1)  
**荒川武雄様**  
沢3-35 TEL23-2309  
西部地区担当  
浜中・沢・富沢・港・梅川・豊丘・白岩・潮見・豊浜  
民生委員数/16名

副会長 (黒6中央)  
**僧都 徹様**  
黒川13-73 TEL22-3151  
黒川地区担当  
黒川・登・山田  
民生委員数/19名

後志管内の民生委員児童委員定数

市町村名	民生委員・児童委員	主任児童委員	
南	島牧村	9	2
後	寿都村	14	2
志	黒松内町	16	2
	蘭越町	19	2
	二セコ町	13	2
山	真狩村	8	2
麓	留寿都村	6	2
後	喜茂別町	13	2
志	京極町	13	2
	俱知安町	49	3
岩	共和町	19	2
宇	岩内町	47	3
後	泊村	12	2
志	神恵内村	6	2
北	積丹町	15	2
	古平町	15	2
後	仁木町	13	2
志	余市町	60	3
	赤井川村	6	2
	小樽市	315	32



### 余市町共同募金委員会より 東日本大震災義援金の受付状況について

3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に多くの地域に甚大な被害を及ぼしました。

現在、被災地では懸命な復興支援活動が行われています。

この義援金は、多くの被災地において貴重な資金として大いに活用されており、皆様からの温かな気持ちが被災された方々の支えとなっています。



沢町小学校児童会様



社会福祉法人徳風会様

#### 「東日本大震災義援金」受付状況

平成23年3月15日～12月受付分

関 安雄様(美園町) 栗島昭男様(黒川町) 北潟谷靖子様(小樽市) 城野電機工業株式会社(栄町) 余市町役場職員福利厚生会様 西谷麗子様(港町) 余市ニッカ会様 港ハイヤー(株)従業員一同様(入舟町) 素堂書道教室様(黒川町) 沢町小学校児童会様 社会福祉法人徳風会様(沢町) 余市町役場募金箱(4ヵ所) 余市社協職員一同 **合計 190万727円**

### ケアホーム・グループホーム開設のお知らせ

平成24年4月開設予定

## NPO法人「樹の杜」

(理事長 山本茂雄様)

募入居者  
集中中

NPO法人「樹の杜」が余市町入舟町273-1に開設する障害者福祉サービスに基づいた「ケアホーム(共同生活介護)」と「グループホーム(共同生活援助)」の入居者を募集しています。

定員 男性5名、女性5名

※体験入居可能(有料)

詳細は直接事業所へお問合せ下さい。

### NPO法人「樹の杜」

余市町入舟町273-1

TEL23-8051/FAX23-8052

E-mail kinomori0123@rice.ocn.ne.jp



よいち社協

## 子育てほのぼの写真コンクール入賞作品決定

第4回

今回は10名の方から15点作品の応募があり、審査の結果次の方々が入賞され、11月24日福祉センター入舟分館に於いて表彰式が行われました。

また、応募作品は町内の公共施設・保育所などで展示しております。

- 👑 最優秀賞「孫との会話」阿部和彦様(大川町)
- 🏆 優秀賞「だっこ」滝沢節子様(山田町)
- 🏆 優秀賞「ひいばあちゃんとひまごのひみつの話」大谷 覚様(入舟町)
- 🏆 特別賞「2011年♡夏in yoichi」渡辺幸江様(黒川町)



作品展示(12月～1月)

余市町立各保育所(大川・黒川・中央)、中央公民館、福祉センター(富沢・入舟)、北海信用金庫本・支店、余市郵便局

### ●ご寄附いただきありがとうございました●

平成23年10月～12月

皆様のご寄付は福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

- ▷ 白鳥文雄様 100,000円  
(故妻白鳥濱子殿追善供養)
- ▷ 花藤美幸様(花藤流舞踏家元 児玉登美子) 30,000円  
(花藤流舞踏・歌謡30周年記念チャリティ益金の一部)

### 新規団体会員のご紹介



- 6月16日加入  
公民館サークル「本のひろば」代表 小山 栄子様
- 6月21日加入  
「余市町心身に遅れをもつ子と共に歩む会」会長 関 司一 幸様
- 12月6日加入「NPO法人 樹の杜」理事長 山本茂雄様

本にしてみませんか

企画-印刷-製本-発行 あらゆる印刷の相談は…



川柳・俳句・短歌集  
記録研究/記念誌等



# 株式会社 おおはし

☎ 代表 0135-23-4591 FAX 0135-22-3600

●mail:oo84@cocoa.ocn.ne.jp 〒046-0004 北海道余市町大川町14丁目14番地